

SV2000

nano Glasscoat SV for professional

熱膨張への追従性も備えた万能型の
外装保護用コーティング材

【概要】

汎用性が非常に高く、ご要望に応じたカスタマイズで、様々な用途に応用が可能な製品です。オリジナルコーティング材として、主に美観維持(防汚)、劣化防止を目的とし、食品容器、調理具をはじめ、業態を問わず様々なご用途で使用可能です。

特長 撥水性 ツヤ出し

nano Glasscoat Japan

- 1 撥油性が強く、鉄の熱膨張にも追従する仕様
- 2 塩害・酸性雨・融雪剤などに起因する塗装、設備等の劣化防止に高い効果を発揮!
- 3 静電気を起こさず、粉塵や煤煙を寄せ付けない!

系統・規格・適応下地

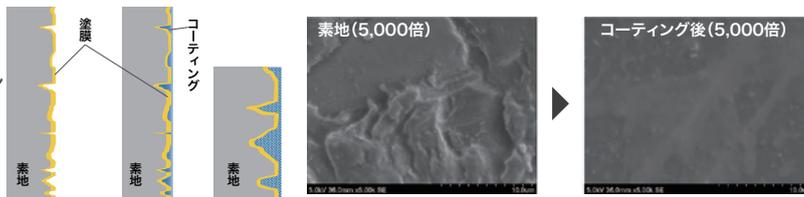
nano Glasscoat Japan

- 系統・規格:【撥水・艶】高純度無機ガラス質、熱膨張追従
- 適応下地:塗装面、鉄部、石(コンクリート)壁、磁器質タイル、アルミ板、SUS304、トタン、FRP、アクリル板、石材、アルミサッシ周りシール等

SV2000メカニズム

nano Glasscoat Japan

*最先端技術を用いてケイ素をナノレベルまで小さくすることにより、マイクロレベルの超細部の凹凸にまでケイ素が入り込み被膜を形成します。



標準塗布量・容量・色相・施工方法

nano Glasscoat Japan

- 標準塗布量: 15g/m²(対象素材により前後します。)
- 容量: 1kg、4kg、16kg
- 色相: クリアー
- 施工方法
 - ・専用スポンジ/スポンジローラー(推奨)
 - ・刷毛塗り
 - ・吹き付け



▲黄金色がかった透明



SVシリーズ施工にあたっての注意事項

nano Glasscoat Japan

■はじめに

- ・製品の取り扱い、保管条件や緊急対応については、付属の仕様書、SDS等を事前によく読みご確認下さい。
- ・高温(35℃以上)、高湿度の環境では、硬化反応が極端に早まりますのでご注意下さい。
- ・低温(5℃以下)の環境では、硬化反応が起こりづらく、乾燥が極端に遅くなりますのでご注意下さい。
- ・表面硬化前に水分に触れると、白濁、艶ボケ等の症状が現れることがありますのでご注意下さい。
(※特に、梅雨時期、夜露・結露の発生時期等は、十分に注意が必要です。)
- ・乾燥は、常温環境(20℃/60%)で約4時間、性能を100%発揮するための完全硬化は7日間要します。
- ・仕上がりの艶に関して、事前に素材との兼ね合い、仕上げ具合を確認してから施工して下さい。

■下地処理(あくまでも下地の状態をそのまま保つというのがコーティングの効果であることを踏まえて施工計画を行って下さい。)

- ・完全脱脂、完全乾燥状態が基本です。
- ・手垢、油分が付着している可能性のある箇所はIPA等での脱脂作業を事前に行って下さい。(※IPAスプレー等で弾く場合はNGです。)
- ・表面に湿りがないことを(塗料上の場合には特に)確認してください。
- ・フッ素系や油分を含む塗料、加工が施されている対象面、鏡面や撥水状態にある対象面への施工は避けて下さい。
- ・直接コーティング施工を行う場合、下地のクラックやチョーキングの状態に注意し、必要な処理を施してから施工して下さい。
- ・素地によりプライマーが必要になる場合があります。
- ・コーティング後の補修・塗装等はできません、色味やサビ等の下地の状態を整えてからの施工をお勧めします。

■施工準備

- ・直射日光の当たる場所に本材容器を放置しないで下さい。また、本材容器を開封したままの状態では放置しないで下さい。
- ・施工前に対象箇所以外はしっかりと養生を行って下さい(※特にテープの隙間に注意)。※養生は、施工後にすぐ外して下さい。

■施工にあたり

- ・本材容器から液材を必要な分だけをバケツに取り、本材容器の周りを拭いて日陰の涼しい場所で保管して下さい。
- ※空気に触れた瞬間から反応を開始するため、使用後の残液を本材容器に戻さないで下さい。
- ・吸込しない対象面へのスポンジローラー塗り込みは塗りっぱなしで「15g/m²(対象素材により前後します。)」を目安に、一度に多くの液材をバケツに出し過ぎないように注意して下さい。(休憩等、作業スケジュールを考慮の施工を行って下さい。)
- ・施工環境と仕上げ方に合った方法を計画して、手になじむ道具で施工して下さい。

SV2000 性能表・製品スペック

■製品スペック

項目	内容
商品名	建築外装用「外装防錆保護」
型番	SV2000
対象素材	マンション・教育施設・商業施設など VOCや臭気対策が要求される建物 外部壁面、鉄部、コンクリート、タイル、 石材等に最適
液剤	一液型
塗布方法(推奨)	専用スポンジ/スポンジローラー
標準塗布量	15g/m ² (対象素材により前後します。)
希釈	なし
1人工の施工量	80~100m ² /人工
撥油角	56°
最大塗膜(ドライ)	20μm
乾燥時間	20°C/60%で約4時間
完全硬化	7日間
内容成分	アルコキシシロキサン
比重	0.98g/cm ³
消防法	危険等級Ⅱ第4類 第1石油類
化学物質管理 促進法(PRTR法)	該当しない
有効成分	100%
使用期限	製造より1年
保存方法	5°C以上25°C以下の屋内安置場所
持続期間	15年超(自社試験)

*塗装の樹脂によってはプライマー(P-65WP)が必要な場合があります。

■性能表

試験項目		試験方法(社内試験)
光沢度	85	JIS K5600 4.7 (60度鏡面光沢度)
鉛筆硬度	2H以上	JIS K5600 5.4 (鉛筆引っかき試験)
付着性	モルタル	異常なし
	ガラス	異常なし
	アルミニウム	異常なし
	溶融亜鉛	異常なし
	ステンレス	異常なし
耐溶剤性	鉄板	異常なし
	トルエン	異常なし
	キシレン	異常なし
	アセトン	異常なし
	酢酸エチル	異常なし
耐水性	メタノール	膨潤
	ガソリン	異常なし
耐アルカリ性	異常なし	JIS K5600 6.1 (2%水酸化ナトリウム・5%苛性ソーダ10日間)
耐酸性	異常なし	JIS K5600 6.1 (5%硝酸・硫酸)
防かび性	認められず	JIS Z2911-1981 (30日間)
耐塩水性	異常なし	JIS K5600 (SST 240時間)
促進耐候性	異常なし	JIS K56007.6サンシャインウェザー(3000時間)
防火性	不燃	不燃性能試験
耐熱性	700°C	スポット試験
水質適性	合格	
中性化深さ	0mm	30°C 65%Rh CO10% 30日間
ホルムアルデヒド	F★★★★	JIS A1901 小型チャンバー法

安全衛生上の注意事項

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を理解して、取り扱って下さい。
3. 熱/火花/炎/高温のもののような着火源から遠ざけてください。禁煙です。
4. 容器を密閉してください。
5. 容器および受器を接地してください。
6. 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
7. 火花を発生する工具は使用しないでください。
8. 粉じん/ガス/蒸気/スプレーなどを吸入しないでください
9. 必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。
10. この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないでください。
11. 汚染された作業衣は密封袋へ入れて作業場から出してください。
12. 取り扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
13. 適切な保護手袋/防毒マスクまたは防塵マスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
14. 必要に応じて個人用保護具を使用してください。
15. 飲み込んだ場合や気分が悪いときは、医師に連絡してください。口をすすいでください。
16. 皮膚や髪についた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。
17. 皮膚を流水かシャワーで洗ってください。
18. 皮膚についた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当を受けてください。直ちにすべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再利用する場合は洗濯してください。
19. 粉じん、蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなったときには、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
20. 暴露したとき、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
21. 緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処理を実地してください。
22. 火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
23. 水を消火に使用しないでください。適切な消火剤として、粉末、乾燥砂があります。
24. 容器からこぼれた時には布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
25. 施錠して子供の手の届かないところに保管してください。
26. 直射日光や水濡れは厳禁です。
27. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
28. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。
輸送中も50°C以上の温度にしないでください。
29. 内容物/容器を廃棄するときには、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
30. 塗料が付着した可燃物(ウエス・ダンボールなど)や塗料カス、スプレーダストなどは、自然発火の恐れがありますので速やかに焼却処分するか、容器に入った水に浸して処理ください。
31. 塗料、輸送容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼす恐れがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

危険

危険有害性情報



1. 引火性の高い液体及び蒸気が発生します。
2. 吸入すると有害の恐れがあります。
3. 皮膚に刺激、重篤な眼への刺激の恐れがあります。
4. 生殖機能又は胎児への悪影響の恐れがあります。
5. 呼吸器への刺激の恐れがあります。
6. 眠気及びめまいの恐れがあります。
7. 長期又は反復暴露による臓器への障害の恐れがあります。
8. 水生生物に毒性の恐れがあります。

●Copyright NANOGLASSCOAT JAPAN CO.,LTD.
●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合があります。

株式会社ナノグラスコーティング

-ナノグラスコートジャパン販売元-
〒253-0053 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北1-5-2 サザンコート12F
TEL : 0467-68-5050 FAX : 0467-68-8881
E-MAIL : info@nano-glasscoat.jp